

子等を思ふ歌一首

八〇二番

瓜うり食はめば 子こども思おもほゆ 栗くり食はめば ましてしぬ俵は
ゆ いづくより 来きたりしものそ まなかひに も
となかかりて 安眠やすいしなさぬ

反歌

八〇三番

銀しろかねも 金くがねも玉たまも 何なにせむに 優まされる宝たから 子こにし
かめやも